

# 神の信仰

著者、アーネストエンジェリー牧師

今日の題名は、(神の信仰)です、よく聴き取ってください、人間の信仰ではありません、神の信仰です、神の信仰は決して傷つけられることはありません、私はよくこういう言葉を耳にします、“私の信仰が傷つけられました”よく聞いてみると私の信仰とあり、もしそれが神の信仰であるならば決して傷つけられることはありえないのです、神の信仰は誰によっても傷つけられることはありません、神の信仰は神性であり、傷つけられたり壊されたりすることはありえないのです、ちょうど神の愛が減ぼされることがあり得ないように神の信仰も減ぼされることがあり得ません、あなたは傷つけられることがあるでしょう、そしてあなたの人間の信仰は傷つけられることがあっても神の信仰は決して傷つけられることはありません、すべての神の子たちには信仰の量が与えられています、現実にはあなたは神が与えられた信仰なくして救われること、または十字架を見いだすことはありえないのです、あなたは現実には神の信仰なくしていのちの救いを見いだすことはあり得ないのです、あなたは知らないうちに神の信仰を見て、そして十字架を見いだしたのです、そして神の愛と神の信仰なくしてあなたはイエスの聖なる血を見いだすことはあり得ません、この二つのものはいつも一つなのです、神の愛と神の信仰のことです、もしあなたが神の愛をもっているならば、神の信仰をも持っているはずで、逆にもしあなたが神の信仰をもっているならば、神の愛をも持っているはずで、それは実にすばらしいものです、神の信仰は長い間試されてきました、しかしながら減びたり失敗したことはありません、人の子は多くのことで失敗します、しかし神の信仰は決して失敗しません、私は私の信仰を人間には置いていません、しかし神の信仰、神の信仰に置いています、人間の信仰ではありません、神の信仰です、私は私が救われて以来、私の信仰を神の信仰に置いています、主である神は今に至ってまでも、そのこ

とに関して私を失望させたことはありません、そして神はあなたに対しても失敗したり、失望させたりすることはありません、神があなたに対して決して失敗したり、裏切られたりすることがないということを知ることが素晴らしいことです、と同時にあなたが直接的に神との交わりを知ることが素晴らしいことです、私たちの語っているのは信仰、彼に対する信仰は傷つけられたり滅びたりすることがないということです、もし悪魔が人間の信仰を滅ぼすように神の信仰をも滅ぼすとすれば、それはとても悲しい事です、そして私たちに神との直接的な交わりはありません、しかし悪魔はその直接的な交わり、そして神の信仰を滅ぼすことはできません、私たちは神の信仰によって直接的な交わりを持っていると同時にその交わりは神の御座と直接的に交わっています、悪魔はそれに対して何もすることはできません、悪魔は初めからうそつきです、そしてイエスはそれを真理によって暴かれたのです、イエスは悪魔とすべて人間と同じ状態で会われ、立ち向かわれたのです、イエスは人間のすべての弱いところを持っておられました、しかしイエスは人間でありながら、すべて神から受けることのできる力を私たちに示されたのです、イエスは悪魔と出会って私たちにその道を示されました、どのように悪魔をみことばによって取り扱うか、みことばによってです、彼は何度も悪魔に、このように書かれている、このように書かれていると告げました、そしてそれは血の力のあるみことばでした、そして彼がそれを語られた時、そのみことばの中には血の力があつたのです、そして悪魔はそれに対して逃げるほかには何もできなかつたのです、素晴らしいことだとは思われませんか！ イエスに感謝すべきです、神の力に対して感謝すべきです、そして聖霊の力、聖霊の火の力にも感謝すべきです、私たちはモーセの紫の話を旧約聖書の中に聞かされています、それは現在の私たちににとっては聖霊の力を意味しています、そしてモーセやイスラエルの民が外側からその力を見ていたような状態ではありません、私たちはその力の中にいるのです、その力の中、血の中に聖霊の力の中にいるのです、ペンテコストの日に天から神の火が降りてきたことを知っています、そしてそれは私たちのただ中に受け入れたのです、私たちは雲の

外側にいるのではなく、私たちは雲を這っているのでもなく、私たちはその雲のただ中にいるのです、イエスこそが私たちの雲そのものであり、私たちはそのイエスを私たちのただ中に持っているのです、神を永遠に褒めたたえます、私たちはあまりの喜びのために信じられない状態になります、しかし私は多くのキリスト信者が悲しい顔をしているのをよく見かけます、そして私はその時彼らに対してこのように言いたくなります、“あなたは一体、自分自身が何者であるか知っていますか！神の子です、そしてあなたは信じられない神からの約束を得ているのです、永遠のいのち、そしてすばらしい神の御国です。”私たちキリスト信者は愚かにも酒を飲んでる人の方が私たちよりも幸せそうな顔をしていることに対して恥ずかしさを感じなくてはなりません、この世の多くの罪人の人の方が幸せそうな顔をしていることに関して恥ずかしさを感じなくてはなりません、それらは神をとても悲しませることであり、恵み自体をはずかしめるものです、あなたはイエスの笑顔をいつも心に持ち、主である神の栄光をいつもほめたたえる心を持っていなくてはなりません、人々は幸せな人々に引き寄せられるのであって悲しみは人々を遠ざけます、ですからあなたが神の力にあって幸せな時、人々はその秘密を知りたいと思います、私と交わりをする多くのビジネスの人々が私の幸せの秘密を知りたがっています、そして私はそれに対していつでも話しをする準備ができています、もし彼らが私のただ中に存在する主の喜びについて聞きたいのであれば私のただ中にはそのことがいつも充ち溢れているのです、そしてそれはいつも外側に現れるのです、あなたはイエスの栄光を外側に現わしておられますか！ 旧約聖書の中でもっとも私が好んでいる人格にヨブがいます、彼を祝福します、彼は神の御前に完全な心を持っていました、なぜ主である神は悪魔に対して、このように言われたのでしょうか？(ヨブ記1:8)“主はサタンに仰せられた、お前は私のしもべヨブに心を留めたか、彼のように潔白で正しく神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいないのだが。”主である神はヨブのことを大変誇りに思っていました、このため神は悪魔がチャレンジした時にヨブに対する強い信頼があったのです、神はヨブを信じておら

れました、今この時、あなたが心の中で私は神を信じているというかも知れませんが、しかし神はあなたを信じておられるでしょうか、多くのキリスト信者が私は神を信じているというかも知れませんが、しかしながら現実には神があなたを信じておられるでしょうか！ 現実的には神が私たちを信じておられるということは素晴らしいことです、神は私たちに多くのものを与えて下さいました、そしてその任されたものを神は私たちを信じて完全に任せることができるでしょうか、そのすべてを神の御国のために使うことができるでしょうか、イエスは弟子たちにこう言われました、(ヨハネの福音14:12)“私を信じる者は、私の行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます、私が父のもとに行くからです。”さて私たちはさらに偉大なわざをしているでしょうか！ このミニストリーでは私たちは現実的にその偉大なわざを行っていません、何千という奇跡そして、いやしが一瞬のうちに起きています、私たちが海外で行う宣教とミッションでの現実の神の力の働きです、それは本当に素晴らしいものです、盲目の人が見えるようになり、歩くことのできない人が歩くようになり、耳が聞こえなく口がきけない人々が奇跡を受けています、多くの人々が病氣から罪から自由になっています、神を永遠に褒めたたえます、それは喜びのすべてであり、それは力のすべてであり、神の約束の力の現れです、これらの神の約束は真実であり、この世にある不信仰のボートから降りて水の上を歩くときが来ました、多くの人々はまだ、このボートの中にいて水の上を歩くことができません、ボートから降りて水の上を歩かなくてはなりません、覚えておられますか、ペテロはボートから降りて水の上を歩き始めたのです、そして彼はたしかに水の上を歩いたのです、よく考えてみてください、水の上を歩いたのです、しかし多くの人々は言います、彼はのちに沈んでしまったと、しかし私は言います、彼はたしかに水の上を歩いたと、考えてもみてください、あなたは水の上を歩くことができますか！ ペテロはのちになってイエスから目を離れたのです、それが理由で沈んでしまいました、大きな波が押し寄せ彼が悪魔の声を聞いたのです、それが恐れです、不信仰です、ちょうど昔の時にイブが悪魔に耳を貸したのと同じです、彼が大きな波を見て恐れた時

に彼は沈み始めたのです、しかし私は彼が漁師であり泳ぐことが巧みであることを知っています、しかし彼はその時に自分よりも主であるイエスを求めました、それで助けてくださいと叫んだのです、そのとき主はペテロを助けられました、しかしあなたに言います、私たちはこのボートから降りて水の上を歩かなくてはなりません、

数カ月前のことです、ひとりの女の人がガンの病気のためにしばらくすると死ぬ状態にありました、そして人々は彼女を墓場にする準備をしていました、彼らは彼女がしばらくすると死ぬことを知っていたし、生きるとしても短い時間であることを知っていました、お医者さんも彼女が死ぬことをはっきりと語っていたのです、そういう状態の中で私は彼女と電話で話しをしました、それで私は彼女に“ご存じですか！ 人々はあなたを墓場にする準備ができていますよ、” 彼女は聖書の言葉と私の説教についてよく知っていたので、私はこのように彼女に言いました、“あなたはたった今、ボートから降りて水の上を歩かなくてはなりません、そしてあなたは自分の人生を取り戻さなくてはなりません”すると彼女は私の言葉の意味がよくわかっていたので、その瞬間に心を定め私の言葉に従いました、彼女は今日、この教会の中におられます、そしてもちろん、がんの病気はいやされたのです、そのガンの病気は彼女の体のどれだけの部分を犯していたかはっきりとは知りませんが、彼女は今日、神の手によって癒され生き続けておられます、人々の中には、心にもないのに“できれば私は死にたい”などと心でつぶやく人がいます、しかし私はあなたに言います、死ぬことよりもっと大切なことがあります、あなたはこの地上で生きて神のために働き多くの失われた魂を救う責任があります、私たちは死を受け入れるのではなく、主の2度目の来臨の時に對して主とともに永遠に生きることを望んでいるのです、その時私はこの地上のどこかで主のために働いていることでしょう、どこにいても私は主のために働いていることでしょう、そして私は他の多くの牧師さんからこのように聞かれたことが多くあります、“あなたは老後の生活をどのように考えておられますか、”すると私は答えます、私は老後の生活を考えてはいません、私

の人生は死ぬまで主のために働くことです、私の人生にもし老後の生活があるとすれば、それはまさしく天国であり、神の御国です、私のなすべきすべての仕事が終わったときのことです、神が私を 23 歳の時にいやされて以来、その奇跡は現在にいたるまで生き続けています、現在の私は私が若かった時よりも現実にはもっと力強い状態にあります、その通り、私たちは主のために働くべきです、そのように心を大胆に神に開き、主のために働くことを彼に伝えてください、すると神はあなたの若さを新しくされるでしょう、人々の中には 30 歳や 40 歳で自分はもう十分に年を取ったと考えている人がいます、そしていつも年を取っていくことを考えています、ヨブの話に戻ります、ヨブは神と悪魔との会話を知りませんでした、突然のようにヨブはすべてのものを失いました、しかし神に対する信仰は失っていません、素晴らしいことだとは思われませんか、そしてヨブ記(19:13-18)“神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。私の知人は全く私から離れて行った、私の親族は来なくなり、私の親しい友は私を忘れた、私の家に寄宿している者も私のはしためたちも私を他国民のようにみなし、私は彼らの目には外国人のようになった、私が自分のしもべを呼んでも、彼は返事もしない、私は私の口で彼に請(こ)わなければならぬ、私の息は私の妻に嫌がられ、私の身内の者らに嫌われる、小僧っ子までが私をさげすみ、私が起きあがると私に言い送らう、私の親しい仲間もみな、私を忌み嫌い私の愛した人々も私にそむいた。”そして20節、“私の骨は皮と肉とにくっついてしまひ、”とあります、しかしヨブは神に対して罪を犯しませんでした、素晴らしいことだとは思いませんか！ そして23節から“ああ今、できれば、私のことばが書きとめられればよいのに、ああ書き物に刻まれればよいのに、”その通り、神がそのヨブのことばを聖書に書きしるしておられます、これは神のことばの一部です、そしてこのヨブはこの私にとって大変な祝福となっています、どのようなことが私に起きても祈りと断食を通して必ず乗り越えることができるのです、たとえそれが40日の断食であってもです、私は40日以上断食は決してしません、なぜならイエスがその40日の断食を示され、それが人間にとって限界であることを

示されているからです、そして私がその40日の断食を行うとき、私はそのことで私のうしろの扉を閉めます、そしてすべては神の手にゆだねます、それを神がどのように導かれるかはすべて神に任せています、私はすべて私のなすべきことを行い、神にゆだねるのです、この種の奇跡の祈りは祈りと断食によってと聖書に書かれています、奇跡が起きる種類の事です。ヨブはすべてにおいて満たされていました、健康な体もその一つです、しかし今、彼の妻が彼にこう言います、2章の9節“神をのろって死になさい”しかしヨブは妻にこう言いました、“あなたは愚かな女が言うようなことを言っている”言葉を換えるとあなたは罪人のように語っていると言っているのです、あなたはあなたのただ中に全く神をもっていない人のようだという事です、そしてヨブは13章の4節にはこのように語っています、“しかしあなた方は偽りをでっちあげる者、あなた方はみな、能なしの医者だ、”これはヨブが3人の友人に語った言葉です、ヨブは彼らに能なしの医者だと言ったのです、この言葉は私にとって何度読んでも驚かされます、彼らは能なしの医者、すなわち彼らにいやしの力は何もないと語っているのです、彼らに神の愛がない、そして神の平安がない、そしていやしがないと言っているのです、彼らには人々を助けることができないと語っているわけです、彼らは能なしの医者だからです、しかしイエスは偉大な神からの医者として来られました、そして彼は神の力、神の愛、そして癒しの力を持ってこられました、しかしヨブはここで彼らに対して偽りをでっちあげる者、そして能なしの医者と呼んでいるんです、あなた方は神にとって何の役にも立たないと語っているのです、そして彼らに対して、あなた方はにせ者であり、偽善者であると言っているのです。

引き続いてヨブは23章の3節“ああできれば、どこで神に会えるかを知り、その御座にまで行きたい。”ご存じですか、彼がその苦難の時に神に対して逃げ隠れせず、遂に神に会いたいと語っているのです、彼は彼自身で神に会って話したいと言っているわけです、これこそが神の信仰です、彼は神の信仰を持っていました、悪魔はそれを打ち滅ぼすことができません、それは人間の信

仰ではなかったからです、人間の信仰は打ち滅ぼされることがありますが神の信仰は打ち滅ぼされることがないのです、神は私たちに人間の信仰を与えられたのではなく神性の信仰を与えられたのです、ガラテヤ人への手紙の中で9つの御霊の賜物はすべて神性のものです、悪魔はあなたを滅ぼすことができます、なぜならあなたが人間だからです、しかし悪魔は神の信仰を滅ぼすことはできません、あなたが神にすべてをゆだねるときに悪魔はあなたに何もすることもできません、そしてそれはあなたの心の信仰が決めるべきものです、このような神の信仰をヨブは持っていたのです、しかし彼の妻はそれを持っていませんでした、彼女の信仰は人間の信仰でした、彼女が次の日の朝に起きた時、彼女はすべてを失っていました、子供たち、そして彼らのすべての持ち物に至るまで、それで彼女はその瞬間に裕福な者から貧しい者に変えられました、彼女の信仰もまた貧しいものだったのです、彼女は神の信仰を持っていませんでした、彼女の信仰は人間の信仰だったのです、しかしヨブの信仰は神の信仰だったのです。

ヨブは 27章の4節でこのように語っています、“私のくちびるは不正を言わず、私の舌は決して欺きを告げない。”ヨブの霊的状态の強さがここにうかがわれます、あなたもこのように聖なる舌、そして聖なる口、そして聖なる手と心を持っているべきなのです、そしてあなたは罪から自由になって生きるべきなのです、もしあなたが罪から自由になって生きていないのであれば、あなたは悪魔に属するということになります、イエスは人々にこのように言われました、“あなた方の父は悪魔です、”その通りです、彼らは天の御国に入ることができません、罪がある限りそれはできないのです、聖書はそのことをはっきりと語っています、しかし、にせの教えが世界中を惑わしているのです、しかし私たちはこの終わりの時に真理を伝えなくてはなりません、そして彼らにイエスが 38年の間、サタンに縛られていた人を癒され、その人をのちに見いだして言われています、“もう罪を犯してはいけません”またイエスは姦淫の場所で捕らえられ石打ちにされようとしていた女の人に向かってこのように言われました、“私はあなたの罪を赦しま



す、行きなさい、もう罪を犯してはなりません、”主であるイエスは人間である私たちに恵みを通してできないことを示され、命令されるでしょうか、私たちは恵みである聖なるイエスの血を通してすべてのことができるのです、そしてアダムとイブについて、彼らは一つの罪によってすべてを失いました、一つの罪によってです、(エゼキエル書18:4)“罪を犯した者はその者が死ぬ”神である主はエデンの園においてアダムとイブに告げられていたのです、そして現在、すべての時代を通して告げられています、それは変わってはいません、罪を犯した者はその者が死ぬのです、主である神は私たちに素晴らしい天の御国について知らせて下さっています、罪はそこに入ることができないこと、そして罪は扉の外に追い出されること、たった一つの罪が天の御国へ入ることをさまたげるのです。私は昔から聖者になると罪を犯さなくなると聞かされてきました、あなたは聖なる者となり、義人となり、あなたの口には偽りを見い出さず、そして正しい心と正しい手で働き、あなたはただ聖なる者となると信じていました、イエスは聖書の中でこのように語っておられます、“心の清い者は幸いです、その人は神を見るからです。”もしあなたの心が神の目に清いとされるなら、そこにどうして罪が存在するでしょう、それはあり得ないことです、一杯の水の中にたった一つの汚れがあれば、そのコップの中の水すべてが汚されてしまいます、一つの罪があなただを汚します、そしてその一つの罪があなただを天国から遠ざけます、この罪の病は栄光の中に入ることはできません、あなたはそのことを知らなくてはなりません、そして人々はだれも罪から自由になれないと心でつぶやくのをやめなくてはなりません、だれであれ牧師の人がそのようなことを語る時、その人は罪を犯している人であると知らなくてはなりません、もし牧師がだれも罪から自由になれないと語る時、その牧師は罪に支配されている人です、私たちが真実のイエスを心に持っている時、私たちは罪を犯しません、そして私たちが聖霊の御霊の賜物を受けていながら私たちのただ中に罪が存在しているとしたら理屈に合わないことだとは思われませんか、聖書には私たちが聖霊の宮であると書かれています、この聖霊はイエスの十字架の結果として与えられたイエスの

血が流された尊い尊い御霊の証しの賜物です、そしてその証しとは神の仕事を行うためのものです、私たちの教会では多くの人が御霊の賜物を受け、聖霊が人々の中で神の仕事をするための準備をしておられます、またほかの人々は御霊の賜物を受けるために日々それを求めています、これらのことは私たちの教会自体を世界に広めるために役立っています、ですからもう一度言います、罪のある者はその者が死ぬと書かれているとおりで、ヨブ記27:6“私は自分の義を固く保って、手放さない、私の良心は生涯私を責めはしない。” 私たちは新しく生まれ変わるとき正しい神の似姿すなわち聖と義の形に造られるのです、私たちの古い罪の性質はなくなり、古い人は死ぬと書かれています、私たちは罪と罪過の中で死んでいた者であり、イエスの神性の血を通して、神の信仰を通して、神の愛を通してイエスによって新しくよみがえった新しい創造です、神に感謝すべきです、私たちは新しくイエスにあつてよみがえったからです、素晴らしいことだと思われませんか、ヨブはそのことに関して、私はそれを決して手放さないと語っているのです、あなたは自分の義を固く保っていると同時に罪を持つことはできません、イエスは聖書において、このようにも語っています、“神のすばらしいみことばと後にやがて来る世の力とを味わったうえで、しかも墮落してしまうならば、そのような人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません、” イエスのいけにえなくして、だれも神と交わることはできません、神と真実に交わることはできないのです、ヨブは続けて語ります、13:15 “見よ、神が私を殺しても、私は神を待ち望み、なおも私の道を神の前に主張しよう。” なんと素晴らしいことばだとは思われませんか、私はもう一度、何度も言います、このヨブのことばは本当に素晴らしいものです、私が殺されても私の信仰は清く純粹で力強く立ちます、なぜならそれが神の信仰だからです、“ヨブは私の信仰は天からのものであり、私はその神の信仰をもっていると語っているのです、その通り、ヨブは確かにそれを持っていたのです、そして神の愛をも持っていました、彼は神の目に正しく完全であったのです、彼はすべての悪を遠ざけていました、もしヨブがひとかけらの罪でも持っていたならば、

神は決してこのようなヨブの証しを聖書に書きしるされてはいなかったでしょう、ヨブの中には不義はなく不正もありませんでした、彼は天国の清さを持っていました、あなたもそのようにして天からの純粹さをもつべきです、イエスは来られて私たちが聖なる清い者に造り変えて下さいました、”私が聖であるから、あなた方も聖でなければならぬ、”と聖書に言われています、そして他の所には、”あなた方は聖でなければ、だれも主を見ることができません。”とあります、すべて天国にはいる人は神の顔をあおぎます、そして扉が閉められすべてのものは聖なる存在となるのです、すべて神のものは聖なる存在であることを忘れないように、そしてすべて神のものは神性です、神の愛は減ぼされることはなく、神の平安も減ぼされることはありません、器は減ぼされます、しかし内なるあなたが神の愛と神の信仰にしがみついているならば、あなたは大丈夫です、悪魔はあなたの魂を地獄に落とすことはできません、イエスこそがあなたのパスポートであり、あなたは天国の市民権を持っているのです、神をほめたたえます、私たちはその都を探しているのです、その都を設計し建設されたのは神です。アブラハムはこの都、天の故郷にあこがれていたのです、そして彼は長い旅ののちにそれを見いだしました、アブラハムがそれを見いだして以来、私もそれを見いだすことができるのを知っています、あなたはとうですか！ 私はアブラハムが持っていた神の信仰を持っています、あなたはとうですか！

主であるイエスは私たちに信仰の戦いを戦い抜くようにと示されています、私たちはそれを現実に実行に移しています、アブラハムが持っていた同じ信仰を私たちは使い、ノアが持っていた同じ信仰を私たちは使い、イサク、ヤコブ、そしてモーセ、そのほかの預言者が旧約聖書でもっていた信仰を使っています、それらは私たちのための信仰であり、私たちは神のみこころを知っています、新約聖書はまさしく神のみこころであり、すべてイエスが持って来られた教えは神の御心そのものです、イエスは天上からの信仰、そして心、愛、平安、恵み、そして力を私たちに示されました、言葉にあらわすことの出来ない喜びを持って来られ、私たちが神の喜びで満たされました、その通りです私達は幸せな魂の

喜びを得たのです、ですから私たちは心から神をほめたたえ賛美します、人々の中には私が罪に対して正しい真理を語る時、信じない人がいます、しかし神である主は私を通して多くの奇跡と癒しの力を示されています、主である神はもし私が真理を語っていないのであれば、そのようなわざをされないでしょう、私が真理を語れば語るほど神はもっと多くの奇跡とわざをされるのです、今夜この時、私があなた方のために祈る時に神はそのことを明らかにされます、多くの奇跡そして多くのいやしがり起るからです、主である神がこの信仰を私たちに下さいました、聖書は神から来ているのであり、それは神のみことばです、私はこれらのことを私自身の命をかけて語っています、あなたは御自身の命をかけておられますか！あなたは神のみことばを本当に信じておられますか、あなたは聖書が聖なる本であることを信じておられますか、聖書とは聖なる書のことです、そしてこれは私たちのため、そして私たちのための神の約束です、そして私はその約束を一つ一つ私のものとしていきます、なぜならそこに神の信仰があるからです、イエスはニコデモに言われました、あなたがどういう人であれ、あなたは生まれ変わらなくては神の御国を見ることはできません、あなたはすべての罪を悔い改めて清められなくては、すなわちすべての罪をやめなければ生まれ変わることはできません、ニコデモはそれを理解することができませんでした、彼は人間の信仰、そして肉による信仰をもっているだけでした、ですから彼はこのようにイエスに答えました、人は老年になっていて、どのようにして生まれることができるでしょうか、この答えそれ自体で彼が肉による信仰を持っている人であることがわかります、彼は霊に関する知識をまったく持っていませんでした、彼は神に対する霊的知識をまったく持っていなかったのです、彼は教師でありながら神のことに関して知るべきことのはじめのことすら知らなかったのです、あなたもそうです、この聖書は霊によるみことばを悟らない限り、あなたはどこへ行くこともできません、ご存じですか、私が神によってイエスの血によって霊によって生まれ変わった時、私は罪から自由になることに関してまったく問題をもっていませんでした、まさしくそれは私に起きたことです、これは真実のイエスの恵

みであり、神の奇跡、真実のいのちの救いです。

私が今まで語ってきたとおり、あなたはひとかけらの罪でも持っているならば、天の御国へ帰ることはできません、すべての罪はイエスの血を通して清められるのです、そこにこそ神の真実の恵み、そして真実の救いがあるのです、これは神のわざです、神をほめたたえ心から讃美します、あなたのすべての心を持って主である神に仕えることはなんと素晴らしいことでしょう、あなたのうしろの扉、そしてすべての橋を断ち切って主とともに前に進むことはなんと素晴らしいことでしょう、人々の意見や悪魔の声を断ち切って御霊の声に聞き従うことはなんと素晴らしいことでしょう、なぜ聖書の黙示録の中で耳のある者は御霊の声を聞きなさいと7回も書かれているのでしょうか、それだけ大切なことだからです、もしあなたに聞く耳があるならば、あなたは必ず御霊の声に聞き従うでしょう、御霊は今日、あなたに語っておられます、あなたはいやされます、そして罪人にはこのように言っています、あなたは救われます、あなたはいやされ、そして救われます、エイズを持っている人でさえ、がんの病で苦しんでいる人、ハンセン病、らい病、それらすべての病氣、病を持っている人々がこのイエスのミニストリーを通していやされています、あなたはいやされるのです、あなたの心を神に与えなさい、罪に戻った人、イエスに帰ってきなさい、誰も地獄へ行くことを望んでいません、しかし地獄は現実に存在するのです、そして聖書はそれを明らかにしています、あなたはそこへ行くことを望んではいません、一度そこへ行くと2度と出てくることはできません。

私はたった今、すべての人々に祈りを求めます、聖者であれ、罪人であれ、私とともに祈りをしてください、聖者である人は罪人を助けるために、そして罪人である人は自分自身の魂のために心から祈って下さい、私とともに心からたった今祈ってください。

おお神様、おお神様、私の魂を救ってください、私はあなたに罪を犯したことを心から悔い改めます、しかし私は今、神の家に帰ります、そして私は主であるあなたにわたしの残った人生を心からあなたに仕えます、そして私はイエスの聖

なる血を信じます、私のすべての罪を洗い流して清めてください、私のすべての罪をたった今、清めてください、私の心の中にたった今入って下さい、たった今、来てください、イエス来て下さい、私はあなたがヨブに与えられたあの信仰を求めます、そして私はあなたを信じます、どのようなことが私に起きても私はあなたを信じます。 さてあなたは今この状態からいやされる準備ができました、主である神は聖書の中にいやしは神の子供たちのためです、と言われております、テーブルから落ちるパンくずではなく、パンそのものを受け取るように、家族の中にエイズを持っている人、家族全体がいやされるように祈ってください、ある教会では私が送っている癒しの布を通して90人以上のエイズの人が一度にいやされています、そして彼らはその後に病院で検査を受けエイズがいやされたことを証されています、またほかの教会では40人以上のエイズの人が私の送った癒しの布を通していやされています、その後、お医者さんがエイズがいやされたことを証しておられます、あなたも準備してください、ガンで死にかけている人、何千という人がいやされています、これは神の信仰です、人間の信仰ではありません、神の声がこの愛と信仰を通してあなたの所にたった今届いているのです、イエスの名によって主よ、いやしてあげてください、奇形児として生まれている子供たち、そして大脳に障害を持っている子供たち、神はそのような子供たちに健康な体と健康な大脳を与えられました、あなたには何でもできることを知っています、私はたった今、この呪いの病、そしてエイズをガンを、そしてハンセン病、死の病、すべての病気に対してイエスの聖なる血の名を通して、そして血の信仰を通して祈ります、いやされてください、いやされなさい、たった今いやされなさい、主である神は神に対する信仰があなたの病気をいやすと言われました、私はその信仰を使っています、そして彼らは必ずいやされるのです、今神の力が動いています、いやされてください、イエスの血の名によって、神の力があなたのただ中に入っています、覚えていますか！あなたの残った人生を神に任せなくてはなりません、そうでないと神の約束はあなたのものにはなりません、私は主に栄光を返さなくてはなりません、栄光と誉れは神の

ものだからです、私はあなたをいやす者ではありません、私はただ神の器として使われているにすぎないのです、神の愛、そして神の恵みが私を通してあなたの方の中に入っています、良くなってください、良い知らせを人々に知らせてください、手紙などを書いて私たちに知らせてください、私たちもあなたとともにその喜びを共にします。 神の祝福をあなたに。